

北関東・信越支部 第6回若手技術者勉強会
「初めての塑性力学（初級編・中級編）」終了報告

作成：若手の会 企画担当 瀧澤

2008/7/3,4,18 と三日間にわたり、埼玉県さいたま市および東京都小金井市で、第6回「初めての塑性力学」を実施しました。68名の参加者があり、会場がやや狭く感じるほどでした。また、関東圏外からも、北海道、富山、愛知など遠方よりの参加ありがとうございました。

参加者の約半数が塑性力学の受講経験のない方で、20歳代の方が57%でした。これから塑性加工に関する仕事で活躍される若いエンジニアの皆様の最初のきっかけとなれば幸いです。

アンケートにご記載いただいた意見をいくつか紹介いたします。

「現状の理論と実測がどの程度あっているかというのがわかり、勉強になった。材料の違いについて理論との差異をもう少し知りたい。」

「降伏曲面、降伏関数を意識してCAE結果を検証したことは今までありませんでした、他にも有益な情報が得られ、とても満足しています。」

「昨年も参加しましたが、2回目ということです。ぜひ内容についていけました。」

「内容すべてを理解し、自分のものにすることはできませんでしたが、どんなことをして塑性を考えているのかがなんとなく分かりました。」

「今後、自分で勉強する上で非常に役立ちました。ありがとうございました。」

「内容的には大変満足させていただきましたが、やはり内容のボリュームに比べて講義時間が少なかったと思います。講師の皆様には大変ですが+1日あるとさらに理解できたを思います。」

「基礎知識のない人には全体的に難しい内容だった気がします。でも、今回の内容にとっても興味をもちました。理解したいなど。」



写真：会場の様子（7/4 桑原先生の講義 at 大宮ソニックシティ）

参加者の皆さん、スタッフおよび講師の皆さんお疲れ様でした。内容をさらに改善して今後も企画を継続していきたいと思えます。来年もよろしくお願ひします。